

新大

キャンパスライフをもっと豊かに

広報

｜特集｜

輝く未来へ 旅立ちの時

～ここで得た全てがこれからの財産～

学長からのメッセージ 新潟大学長 牛木 辰男



No.214

[2020年 卒業記念号]



真の強さを学ぶ。

新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

今まさに 「自律と創生」の 学びを生かすとき

新潟大学長

牛 久 男

卒業生、修了生の皆さん、おめでとう
ございます。心からお祝い申し上げます。

皆さんの新潟大学での学生生活はいかが
でしたか？

初めて新潟市に来たひと、初めての一人
暮らしをしたひとでもいたでしょう。入学式
で初めて出会った同級生、初めての大学
の授業の印象はどうだったでしょうか？
また、大学でさまざまなことを経験したの
ではないでしょうか。企業見学、ゼミ、
サークル・クラブ活動、ダブルホームの活動、

留学経験、留学生との交流、研究室での実
験、学会発表、同級生や先輩との談話風発、
あるいは友人との旅行など… 新潟大学
が、皆さんにとつて、伸びやかで自由な「知
の空間」であつたとしたら、それは私にとつ
ても大変うれしいことです。

「自律と創生」、これが新潟大学の理念で
す。簡単に言えば、「自律」は自分自身で立
てた規範に従つて行動すること、「創生」は
新たなものを作り出すことです。新潟大学
の教職員は、この理念のもとで、皆さんが自
分自身を磨き、柳の枝のようにしなやかで
折れない「真の強さ」を持った人材に育つこ
とを願い、皆さんと接してきました。皆さん
が、新潟大学を巣立つてもその心を忘れず
に、そして、常に知的好奇心を持ち続けて
活躍してほしいと願っています。

これから皆さんが活躍する社会は、グロー
バル化が益々進むとともに、Society
5.0という言葉に象徴される社会改革が
どんどん進んでいきます。IoT、ロボッ
ト、人工知能(AI)、ビッグデータ等の新
たな技術が築くサイバー空間と、現実の
フィジカル空間をどのように融合させて社
会が発展していくのか、予測が極めて難し
い時代ですが、新潟大学で学んだ皆さんな
ら、「自律と創生」を胸に刻み、必ずや自身
の力を存分に発揮して活躍してくれるもの
と信じています。

皆さん、新潟大学は皆さんの母校です。
ここで学んだ誇りをもって、未来への一步
を踏み出してください。皆さんの未来に幸
多きことを新潟大学はこれからも見守つて
います。



輝く未来へ 旅立ちの時

～ここで得た全てがこれからの財産～

卒業生・修了生のみなさん、

ご卒業おめでとうございます。

新潟大学での学生生活はどんなものだったでしょうか？

たくさんの学びや出会いがあったと思います。

楽しかったこと、嬉しかったこと、大変だったこと…。

みなさんが学生生活で最も印象に残っていることや、

卒業後の進路選択について教えてください！

Q1

学生生活で最も印象に残っていることを教えてください。

人文学部

人文学科

野嶋 菜央 NOJIMA Nao

オープンキャンパスでのプレゼンとサークル活動が印象に残っています。オープンキャンパスでは、高校生へ向けて人文学部の説明を行い、そこで2年間司会を務めさせていただきました。時間配分を気にしながら、メンバーから面白い話を引き出すのはとても大変でしたが、やりがいがありました。サークルでは、好きな楽器を持ち寄って上手い下手関係なく好きな曲を演奏する楽しさを初めて知りました。これからも趣味として続けていけたらと思っています。



これからの決意表明



私は春から東京のある企業で販売員として働きます。新しいことに挑戦するのは怖いですが、学生時代の様々な経験を糧に頑張りたいと思います。

教育学部

学校教員養成課程

古川 空美 FURUKAWA Kumi

学生生活で最も印象に残っていることは部活動です。私は競技スキー部とリズム体操部を兼部していました。スキー部では部長を務め、部員をまとめることの難しさを感じました。また、大会では岩岳学生大会3位入賞という自身の目標を達成することができました。リズム体操部では、部員みんなが考えを出し合い、見ている人にも楽しさが伝わるような体操をしました。大勢の人前で体操をすることができてとても楽しかったです。



これからの決意表明



私は春から小学校の教員になります。子どもが楽しいと思える授業をし、子ども一人ひとりの考えを大切にできる教員になりたいです。大学4年間で学んだたくさんのことをこれからの教員生活に活かしていきたいです。

理 学 部

数学科

本田 涼真 HONDA Ryoma

学生生活で最も印象に残っていることは、4年次のゼミ活動です。振り返ってみると、ゼミの発表は上手いできないことの方が多かったのですが、そのたびに先生や先輩方からのアドバイスを頂き、少しずつ数学に対する向き合い方・考え方を学んでいきました。また、ゼミの同期とは幾度となく議論を重ねあい、ともに切磋琢磨しあいました。新潟大学でのゼミ活動は、間違いなく自分にとって貴重な財産になったと思っています。



これからの決意表明



私は、春から他大学の大学院に進学し、本格的に数学の研究を始めていきます。研究集会に行く機会も増え、より忙しくなりますが、新潟大学での学びをもとに、より一層精進していきたいと思っています。

法 学 部

法学科

小早川 魁都 KOBAYAKAWA Kaito

学生生活で最も印象に残っていることは、2年生の春に参加したオックスフォード大学英語研修です。この研修では、英語の学習はもちろんですが、ともにこの研修に参加したバングラディシュの留学生、イギリスの大学生と活動する中で、お互いの価値観の違いや文化の違いを実際に体感し、お互いを理解し合うことができました。この英語研修の全ての出来事が私の大学生活での財産となっています。



これからの決意表明



私は、春から公務員として働きます。大学4年間で身に着けたリーガルマインドを生かしつつ、変化し続ける社会に柔軟に対応することができる新潟大学卒業生として日々努力を惜しまずに精進します。

医 学 部

医学科

北原 愛弓 KITAHARA Ayumi

医学部の学生生活で最も印象に残っていることは、各科をまわる臨床実習です。実習は1年半にわたって行われましたが、どの科においても積極的に参加し、非常に充実した時間を過ごすことができました。実際の検査・治療を見学することで、今まで座学で得た知識がより定着し、患者さんに問診をとり、診察をする経験を積むことで、患者さんとのコミュニケーションの取り方を学ぶことができました。この実習を通して医師として働く上での基礎を身に付けることができましたと思います。



これからの決意表明



将来は、消化器内科医となり主にがん治療に深く関わっていきたくております。この学生生活で得たことを活かし、誰からも信頼される誠実で優秀な医師となれるようこれからも精進して参ります。

経 済 学 部

経済学科

堀 誉日 HORI Yoshika

最も印象に残っているのは部活動です。私は大学に編入後、マネージャーとしてフィールドホッケー部に入部しました。2年間の中で、特に3年時の七大戦が思い入れ深いです。連日の試合で満身創痍の選手をサポートしたり、土砂降りの中カッパを着て仕事をしたり、大変だったことも含めいい思い出です。途中からの入部でしたが、個性あふれる仲間恵まれ、楽しく過ごすことができました。先輩、後輩、同級生、みんなに感謝しています。



これからの決意表明



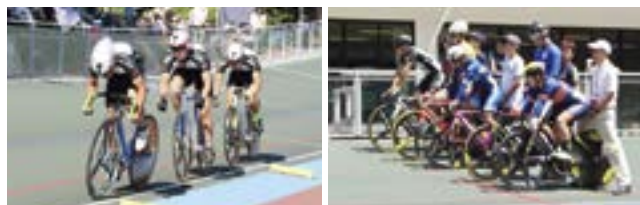
4月からは地元である富山県で働きます。大学での専攻とは全く違う分野に進むので大変だと思いますが、人との繋がりを大切に、新しいことにどんどん挑戦して、自分の可能性を広げていきたいです。

工 学 部

機械システム工学科

坂井 優太 SAKAI Yuta

私は自転車競技部の一員として、日々練習を重ねていました。目標に向けて練習を重ねていく中で、自分自身やチームの課題をしっかりと分析し、それをいかにして改善していくか、ということの大切さを痛感しました。結果が出ずに四苦八苦することもありましたが、自分やチームがやってきたことが結果として表れたときは、大きな達成感を感じましたし、大学生活の中でも非常に印象深い瞬間です。良い仲間とともに非常に楽しい大学生活を送ることが出来たと思います。



これからの決意表明



来年度からは新潟大学の大学院に進み、より専門的な研究活動を行っていきます。研究を行っていく中で、課題や目標の達成に向けて課題などを冷静に分析できる力を養っていければと考えています。

医 学 部

保健学科

阿部 智也 ABE Tomoya

学会での発表や卒業研究などで、研究の一端にふれることができたことが、最も印象に残っています。研究は地道な工程の積み重ねであり、完成までには時間と労力が必要でしたが、教授や先輩からのご指導や、共に研究を進める仲間たちがいたことで成し遂げることができました。このように4年間の学びの集大成を形とすることができたことは、とても喜ばしく、有意義な時間を過ごすことができました。



これからの決意表明



4月からは大学院へ進学し、さらに放射線について学びます。放射線は社会的にはネガティブなイメージが大きいですが、医療の側面から、有効性や正しい知識を習得し研究の結果を社会貢献につなげたいと思います。

農 学 部

応用生物化学科

佐藤 美帆 SATO Miho

学生生活で最も印象に残っていることは研究室での活動です。3年生の後期から栄養制御学研究室に所属し、介護食の呈味の研究を行ってきました。研究室では自分の実験はもちろん、研究室での飼養試験や実験に参加しました。これらの経験は初めてで分からないことだらけでしたが、先生や先輩に丁寧に指導して頂き、同期と協力して乗り越えることができました。研究室での経験は私の大学生活においてとても大切なものになりました。



これからの決意表明



来年度からは新潟大学の修士課程に進学します。大学院ではより自分の研究分野を深めていきたいです。自分を支えてくれる周囲の人に感謝を忘れず、研究を頑張っていきたいと思っています。

歯 学 部

口腔生命福祉学科

坂井 鮎 SAKAI ayu

少しずつ確実に「できる」が増えていく病院での臨床実習は毎日が刺激のある充実した日々でした。一方で辛かったことは、患者様の思いを全て理解することは出来ないと感じた時です。痛みや悩みを抱えた患者さんの思いが話を聴いて全部分かる訳ではありません。そんな「答えが出ない」悩みを抱えた時は、学科の仲間と話すことで救われました。先生からも分かってもらう姿勢が大切だという助言を頂き、それも忘れられません。



これからの決意表明



卒業後は愛知県の病院で歯科衛生士として働きます。これからも様々なことに挑戦し、患者様一人ひとりに寄り添うことのできる歯科衛生士を目指して頑張りたいと思います。

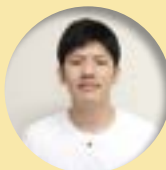
現代社会文化研究科

博士前期課程 社会文化専攻
曾根 勇志 SONE Yuji

大学生活で印象に残っていることは、様々な「経験」を積むことができたことです。部活やアルバイトはもちろんですが、論文を書くというのも自分にとっては大きな経験でした。特に修士論文を執筆したことは、自分のこれからの人生において必ず役に立つと実感できる経験でした。労力としては相当なものであったと思いますが、それ以上に学べることが非常に多くあり、大学院に進学してよかったなと思うことができました。



これからの決意表明



これからは、自分の専門である日本語学がどこまで役に立つかはわかりませんが、大学・大学院で学んだ「経験」を活かしていきたいと思っています。

教育学研究科

専門職学位課程 教育実践開発専攻
熊倉 了子 KUMAKURA Ryoko

大学生活で最も印象に残っていることは、多面的、多角的に教育について考えられたことです。全ての講義の学びが深く、充実していました。特に課題研究では、担当教授からの質問に答えることで、意識化できていなかった新たな自分を引き出してもらいました。熱心にご指導いただき、幸せな時間だったと感じます。また、良き仲間と励ましあったり、笑ったりしながら過ごせたことも貴重でした。ボウリング大会や鍋作り、中国訪問等、一生の思い出になりました。



これからの決意表明



課題研究を進める過程で、さらに追究したい内容が出てきました。目の前にいる子どもたちのために、学び続ける教師でありたいと思います。自分がしていただいたように、子どもたちのやる気を引き出せる言葉がけ、対応に努めていきたいです。

自然科学研究科

博士前期課程 環境科学専攻
佐藤 一海 SATOH Hitomi

大学生活で最も印象深いのは、4年生からの3年間における研究生活です。研究では、冬に日本へ飛来する渡り鳥のガン・ハクチョウ類の渡り時の行動を東北、北海道に渡り観察してきました。寒い冬季の長期調査は過酷に感じることもありましたが、その過酷な環境のなかで鳥が見せる迫力ある綺麗で壮大な光景に感動した事は忘れられません。本当に素晴らしい経験が出来ました。



これからの決意表明



来年度から自身の研究にも関連がある自然環境分野の職に就きますが、研究の中で培った考え方や技術を活かすだけでなく、苦労しても妥協せずにとことん追求する姿勢を大切にしていきたいと思っています。

教育学研究科

専門職学位課程 教育実践開発専攻
鈴木 匠磨 SUZUKI Takuma

教職大学院での2年間が最も印象に残っています。この2年間は本当に人に恵まれたと感じているからです。多様な考えを示してくださった大学院の先生方、自分のロールモデルとなった先生、日々の苦楽を共にした信頼できる同期、実習先の先生方や子どもなど、多くの出会いがありました。教科、校種、年齢など、とても多様な立場の方々と子どものために一緒に学べたことはかけがえのない経験となりました。



これからの決意表明



私はこれから小学校教諭として子どもの前に立ちます。大学院で得た知識や経験、つながりを子どもに還元していきたいです。子どもが本気になって学べる授業や学級を目指して力を尽くしていきます。

医歯学総合研究科

修士課程 医科学専攻
海老 優樹 EBI Yuki

国内学会での研究成果発表です。当初は、学外で発表をした経験がなく、研究成果を理解してもらえるか不安でした。そのため、全く知識がない方にも理解できるよう、入念に準備をして、本番に臨みました。結果、ミスなく発表を終わらせることができ、また、様々な分野の方に研究成果に興味を持っていただくことができました。大学院ではどうしても研究室にこもる時間が長くなり、刺激を受ける機会が少ないため、国際学会のような他分野と交流できる場合は、強く印象に残りました。



これからの決意表明



この2年間の研究生活で得た知識や経験はこれからの社会人生活において、大きな武器になると考えます。この武器を最大限に活かし、その分野に革命を与えるような、そんな成果を出せるよう、尽力していきたいです。

保健学研究科

博士前期課程 保健学専攻
坂井 まどか SAKAI Madoka

大学院生活で最も印象に残ったことは、アメリカのテキサス州サンアントニオで開催されたAAPM 2019での口頭発表です。私にとって初めての国際学会でしたが、周囲の先生方の熱心なご指導のおかげで素晴らしい経験ができました。また、大学院生時代に世界レベルの研究に触れることができたという経験は、今後の人生においても貴重な財産になるだろうと思います。



これからの決意表明

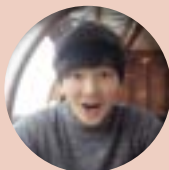


春からは、医学物理士を目指してさらに学び続ける日々が待っています。現状に満足せず、常に努力できる人でありたいと思います。

はじめは、中学校の教員になることを目的としてこの新潟大学の教育学部に入学しました。子供が好きなこともあり、大学に入学して、児童文化研究部という子供たちに演劇や遊びの公演を行う部活に入部しました。そこで、中学生よりも小学生と接する機会が多く、小学校の教員になることも将来の選択肢の中に入ってきました。そして、3年次の教育実習も小学校へと行き、とてもやりがいを実感しました。このようことから、卒業後は小学校の教員になる決意を固めました。



これからの決意表明



社会が時代に合わせて複雑になっていき、それに伴って求められている教育も複雑になっています。なので、目の前の子供たちときちんと向き合って責任を持ち、全力で指導していきます。

卒業後の進路を選択した
きっかけを教えてください。

Q2

霞が関セミナーに参加し、外国人との共生社会を実現するという出入国在留管理庁の使命に共感したことがきっかけでした。

入管が担う出入国の適正な管理は日本の治安維持の根幹であり、外国人の受入れ及び在留の管理は国際化が進む昨今、より需要が拡大している分野の一つです。こうした点に魅力を感じ、入管行政を通して人々が安心して暮らせる社会の実現に貢献したいと考えるようになりました。



これからの決意表明



東京オリンピック以後、訪日外国人数のさらなる増加が予想されるため、円滑かつ厳格な出入国管理の実行に尽力したいと考えています。併せて、外国人との共生社会の実現に貢献できるよう、入管職員の一人として政策立案に取り組んでいきたいです。

僕がドイツ文学研究の道に進む決心をしたのは、3年の春です。それまでは地方公務員として平らかな道を歩むつもりでした。岐路となったのはドイツ留学です。そこで僕は自分が日本人でもドイツ人でもないという不思議な浮遊感を味わいました。この感覚は今でも、百年以上も昔に書かれた異国の言語を前にすると甦ってきます。その度に生きている実感がするのです。地に足をつけた生活では見出せない魅力が、ここにあります。



これからの決意表明



恩師いわく、研究者への道は茨の道とのこと。僕としては、社会の流れとは逆の方に張り渡された1本の綱に今まさに足を乗せるような気持ちです。いつか素晴らしい宝を持ち帰れたら良いと思います。

医学部

医学科

瀧宮 龍一 TAKIMIYA Ryuichi

多くの尊敬する先生方にご指導を賜り、患者さんを助ける医療の素晴らしさを知りました。また患者さんに関わる中で、お身体のことだけでなく、疾患が生活や仕事に与える影響や経済面での負担など、様々な不安を抱えられていると感じました。そうした面にも配慮し、温かな医療を届けられる医師になりたいです。卒後は県外で経験を積み、知識とスキルを身に付けた後に、新潟の医療に少しでも貢献したいと意気込んでおります。



これからの決意表明



マザーテレサは「あなたに出会うすべての人が、あなたと出会う前よりも幸せになるよう振る舞いなさい」と言っています。私も一人ひとりの患者さんにそのような態度で接することのできる医師になりたいです。

経済学部

経営学科

高橋 一穂 TAKAHASHI Kazuho

私が卒業後の就職先を決めたきっかけは、説明会で話を聞いたことです。自分でも就職先について調べていましたが、それだけでは決めきることはできずにいました。しかし説明会に参加し、今まで調べて分かっていたことをより深く理解するだけでなく、新たに興味のある部署を知ることができました。説明会に参加したことで自分に合った部署を見つけることができ、就職活動のモチベーションにもなったのでとても良い機会でした。



これからの決意表明



新潟大学に入学して、多くの出会いに恵まれ、様々な経験をすることができました。これらを今後の生活に活かしながら、より自身が成長できるよう日々精進していきたいと思います。

医学部

保健学科

高木 姫奈 TAKAGI Hina

私はこの春から臨床検査技師として病院で働きます。大学2年生で初めて循環器学の授業を受けて以来、その奥深さに魅了されました。卒業研究では低温不整脈の発症基盤について研究を行い、改めて循環器学の面白さを感じたとともに更に深く学びたいと強く思うようになりました。また授業や卒業研究で得た知識に加えて、実際の臨床現場で様々な症例から学び、多くの経験を積んでいくことが自分には必要であると考え、上記の進路選択に至りました。



これからの決意表明



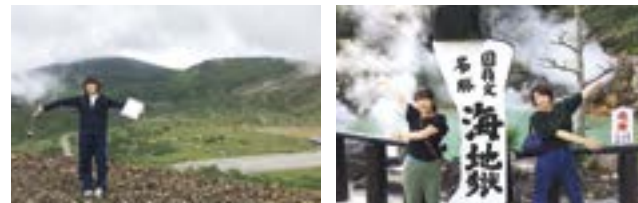
私の尊敬する人の言葉である「頑張るよりも楽しんで」を胸に、好奇心・探求心を忘れず考え学び続けていきたいです。そして理想とする臨床検査技師像に一步でも近づくことができるよう日々精進していきます。

理学部

自然環境科学科

村瀬 愛枝 MURASE Aie

私の選んだ進路は入学前の私では予想もつかないものだと思います。入学当初、私は災害について学びたいと考えていました。しかし大学で災害についてのみならず、物理学、気象学、物質化学、様々な分野をより深く学ぶうちに生物学にも興味を持ち始め、悩んだ末、動物進化発生学研究室に所属することに決めました。4年次に研究が始まると、毎日が新しいことの連続で面白く、卒業後もさらに研究を進めたいと考え、進学することに決めました。



これからの決意表明



修士課程では今まで研究してきたことをさらに発展させて、外部でも発表できるように結果を出し、今よりもっと理解を深めていきたいです。

農学部

農業生産科学科

福光 康輝 FUKUMITSU Kouki

私は入学以前から、食という分野に興味があり、この新潟大学農学部に進学しました。農業経済を専攻するなか、現代日本において食の志向や流通プロセスが変化し、食品産業の果たす役割が大きくなっていることを学びました。そのような学びを通じて、自分も日々変化している食品業界で働いてみたいという考えに至りました。その考えの下に就職活動を行い、食品の専門商社に就職することを決めました。



これからの決意表明



食は人間には欠かせない要素です。そのようなものを扱う仕事に就くので、多様化するニーズに応え、より多くの人間に好まれるようなサプライチェーンを構築していきたいと考えています。

歯学部

歯学科

安井 惟人 YASUI Yoshihito

6年間の学生生活は、本当にあっという間でした。学部での勉学では知識・手技・態度を学び、課外活動を通じて様々な社会勉強をすることができました。卒後は研修を終えた後、新潟大学歯学部大学院への進学を考えています。大学での臨床実習を通して、歯科に関してさらに専門的な学習をすることに興味を持ったからです。後輩の皆さんには、たくさんの経験を積み、様々な考え方を持っていて欲しいと思います。楽しく充実した学生生活を送ってください。



これからの決意表明



春から歯科研修医として働きます。研修させて頂く環境に感謝し、様々なことを経験、吸収して成長したいと思います。患者さん一人ひとりと向き合うことを大切しながら、歯科医療に貢献できる歯科医師を目指して頑張ります。

現代社会文化研究科

博士後期課程 共生社会研究専攻

KOROBOCHKINA Alena コロボチキナ アリョーナ

卒業後の進路を選択するときに、私にとって一番大事なのは得た知識を最大限に活用し、他の人に伝えることです。同時に、長年に渡り日本に住んでいたのも、そこで学んだことも使いたいです。そのため、日本と直接又は間接的に関係がある仕事を探しています。現在、一番興味のある職場は研究所又は大学です。両方とも研究を続けながら、自分自身の経験を若い世代と共有し、毎日新しいことを学び、日本との関係性を維持する可能性を持てるからです。



これからの決意表明



これからも研究を続け、毎日新しいことを学び、分析や研究の結果を現実化したいと思います。専門は国際政治ですが、得た知識を多国間の経済関係、投資、様々なプロジェクトの開発に役立てようと思います。

工学部

機能材料工学科

頓所 美咲 TONSHO Misaki

卒業後は新潟大学の大学院に進学します。進路のきっかけは、進学するか迷っていた3年生の時に今所属している研究室へ研究室見学に来たことです。興味のある研究を自由にかつ手厚いサポートの下、取り組む大学ならではの研究スタイルを知り、また実際の先輩方のお話を聞くことができました。自分も大学の恵まれた環境で3年間研究を行うことによって自主性と知識を兼ね備えた人物になりたいと思い、進学することを決めました。



これからの決意表明



大学4年生になり研究がメインの日常になってから大分日が経ちますが、まだ勉強不足の部分も多く、沢山の人や物に助けられています。これからはより積極性を大切に一つ一つ理解しながら日々精進していきたいです。

Q2 卒業後の進路を選択したきっかけを教えてください。

医歯学総合研究科

博士課程 口腔生命科学専攻

吉原 翠 YOSHIHARA Midori

大学院卒業後も摂食嚥下リハビリテーション学分野大学院に所属し、嚥下障害をもつ患者さんの診療と、嚥下機能に関する研究を継続して行う予定です。

昔から食べることが大好きで、学生時からこの分野に興味があり、大学院に進学して勉強を続けてきました。

研究も臨床も奥があまりにも深く、まだまだ分からないことだらけですが、当科の先生方の背中を追いかけて成長したいと思い、今後もこの分野に残ることを決めました。



これからの決意表明



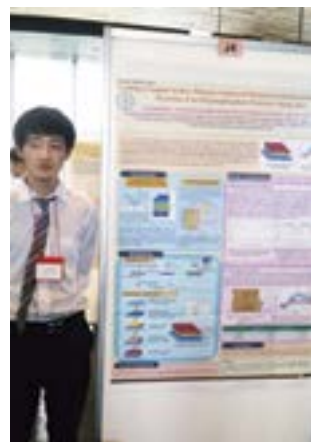
大学院の4年間で学んだことを元に、さらに嚥下障害について理解を深め、患者さんの助けとなれるよう、日々精進を重ねていく所存です。

自然科学研究科

博士前期課程 電気情報工学専攻

倉石 裕也 KURAISHI Yuya

私は学生時代に学んだ英語力を活かせる仕事がしたいと思い就職活動を始めました。研究活動や研究発表などで英語を使って外国の人たちとコミュニケーションをとることに楽しさを感じ、卒業後も英語を使った仕事がしたいと思いました。大学で学んだ専門知識をベースに、英語を通じていろんな知識や意見を吸収しながら設計開発に取り組むことで、より多くの人に喜んでもらえる製品を生み出せる技術者になりたいと思います。



これからの決意表明



大学生活を通じて人と協力することの大切さを学びました。これから社会人になり問題に直面した際には、このことを思い出して壁を乗り越えることで、日々成長していきたいと思っています。

保健学研究科

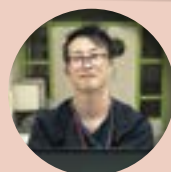
博士前期課程 保健学専攻

長澤 寮 NAGASAWA Ryo

私は精神科の看護師として勤務してきました。臨床経験5年目の時にキャリアアップについて考えるようになり、大学院への進学を決断しました。卒業後も現在の職場で看護師として勤務を続けていく予定です。精神科の領域では、大学院課程を卒業したという人は多くありません。ですので、大学院で学んだ専門性の高い知識や技術を現在の職場で活用し、よりよい看護を提供できるようにしたいと考えています。



これからの決意表明



臨床と研究をできる限り近づけて、精神科看護の発展に尽力したいと思います。



新潟大学全学同窓会

全学同窓会野本憲雄会長インタビュー

伝統ある各学部同窓会の枠を超えた連携・協力を目指して、平成18年に設立された全学同窓会の歩みも10年を超えました。会長の野本憲雄さんに全学同窓会の活動について伺いました。



全学同窓会の理念や目標について教えてください。

目標は、「新潟大学の発展と社会への貢献に資するとともに、会員相互の交流と連携及び親睦を図る」ということです。この目標に向けて、会員への情報提供・サービスを充実し、大学・社会貢献を推進して、「会員にとって同窓会の存在が実感できる同窓会づくり」、「母校とそこで学ぶ学生さんを支援できる力量がある同窓会づくり」を目指しているところです。

全学同窓会の活動や事業について教えてください。

広報紙「雪華」の発行、メールマガジンの配信、交流会・講演会の開催、大学との懇談会の開催、「新潟大学カード」(クレジットカード)事業、母校支援事業、学生さんのための「雪華支援事業」などを行っています。

「雪華支援事業」では、学生さんの活動に年350万円程の支援を行っています。また、五十嵐、旭町両キャンパスの体育施設のトレーニング機器の充実のために1,000万円ずつ寄贈してきました。

卒業したら...

新潟大学カードに入会しよう!

新潟大学カードはVISA付きの国際カード

新潟大学カードに関するお問い合わせは...

新潟大学全学同窓会事務局

TEL:025-262-7891 (受付時間 平日10:00~15:00)

E-mail:n-doso@adm.niigata-u.ac.jp

入会費・
年会費無料



「新潟大学カード」の収益も学生さんの支援に充てています。入会費・年会費無料のクレジットカードです。皆様方にも卒業を機に是非ともご入会いただきたいと思います。

学生、卒業生に一言お願いいたします。

母校が教育・研究の実を挙げ、母校の評価が一層高まることは、同窓生みんなの願いです。何よりも教職員、学生の皆さんのご努力・ご活躍に期待しますが、同窓生が社会で活躍され、同窓会にご協力・ご支援をいただいで、母校と学生さんを力強く応援したいものです。卒業生の皆様の前途に幸多かれと祈り、ご健康・ご活躍を祈念申し上げます。

【新潟大学全学同窓会HP】 <https://www.niigata-u.ac.jp/dousoukai/>

【新潟大学全学同窓会事務局】

TEL:025-262-7891 (受付時間 平日10:00~15:00) FAX:025-262-7892

E-mail:dosojimu@adm.niigata-u.ac.jp

ご寄附とご協力をお願い

新潟大学まなび応援基金

【目的】「輝け未来!!新潟大学入学応援奨学金」をはじめ、経済的理由により修学が困難な学生に対する修学支援事業を行います。

■支援事業(支援事業を指定してのご寄附はできません。)

- 入学科、授業料及び寄宿料の全部又は一部を免除する事業
- 学資金を貸与または給付する事業
- 学生の海外留学に係る費用を負担する事業 など

■税法上の優遇措置

個人:税額控除と所得控除を寄附者が選択

法人:全額損金に算入可能

新潟大学基金

【目的】新潟大学の基盤整備、企業や地域社会との連携、研究活動支援、学生の厚生施設整備などを推進する事業を行います。

■寄附目的

- 基金事業全般(大学全体の支援、教育活動の支援、学生の修学支援、研究活動支援、国際交流活動支援、キャンパス整備支援、地域・社会貢献活動支援)
- 国際交流の推進 ●病院運営の支援

■税法上の優遇措置

個人:所得控除 法人:全額損金に算入可能

ドナルド・マクドナルド・ハウスにいがたの建設・運営への募金(2020年8月まで)

日本海側では初めてとなる「ドナルド・マクドナルド・ハウスにいがた(小児医療宿泊施設)」の建設を公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンから12番目となるハウスとして決定いただきました。建設場所は大学病院地区構内を予定し、オール新潟で活用していただく施設としておりますが、ハウス建設資金の調達が未だ十分ではありません。

ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ドナルド・マクドナルド・ハウスの

紹介動画をこちらからご覧頂けます。

「ひとりじゃない ノートに願いをこめて」



今すぐに寄附をする

(本の基金ホームページ)



◀まなび
応援基金
新潟大学
基金▶



【基金ホームページ】 <https://www.niigata-u.ac.jp/university/donation/>

【お問い合わせ先】新潟大学サポーター連携推進室

TEL:025-262-5651・6010・6356 (平日9:00~17:00)

E-mail:kikinjimu@adm.niigata-u.ac.jp

マクドナルド
ハウスへの
ご寄附はこちら

個人情報の取扱いについて

■新大広報では皆様からお預かりした個人情報につきまして、責任をもって管理することをお約束いたします。

■アンケートや誌面へのご意見、掲載希望他、お預かりした個人情報は新大広報の企画の参考にさせていただきます。この目的以外に使用したり、第三者に提供したりいたしません。

新大広報 Back Number

新大広報のバックナンバーは新潟大学ホームページで公開しています。

また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。

新大広報

検索



Follow us!

新大広報公式
Twitter



新潟大学公式 SNS



Twitter



Instagram



Facebook

2020年 卒業記念号 [No.214]

2020年3月発行

編集・発行／新潟大学学務部・新潟大学広報室

印刷／(株)第一印刷所



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

新潟大学ホームページ

<https://www.niigata-u.ac.jp/>